

水道施設の耐震化に関する取組状況について

水道は市民生活と都市活動に欠かせないライフラインです。水道理念である安全、安心、清廉な水を供給するに留まらず、地震等の災害にも強い水道づくりを進めて行くことが必要です。また、水道法施行規則第 17 条の 2 第 6 号に規定する「水道施設の耐震性能、耐震性能向上に関する取組等の状況に関する事項」の情報について、水道事業者が需要者に対して、毎年 1 回以上提供することが義務付けられていることから、岡山県西南水道企業団における取組状況についてお知らせします。

1. 施設の耐震化状況（平成 28 年度末時点）

○浄水場

全施設能力 ($\text{m}^3/\text{日}$)	耐震化能力 ($\text{m}^3/\text{日}$)	耐震化率 (%)
60,000	30,000	50.0 (25.8)

○配水池

全施設容量 (m^3)	耐震化容量 (m^3)	耐震化率 (%)
37,500	34,800	92.8 (51.5)

○基幹管路（送水管）

管路総延長 (km)	耐震適合性のある管路延長 (km)	耐震適合率 (%)
24.23	5.79	23.9 (37.2)

() 内は全国平均（平成 27 年度）

※浄水場および配水池の耐震性能は L2 対応のもの。

※基幹管路については未供用のものは含まず。

2. 耐震化実施取組について

○耐震診断

- ・新庄浄水場耐震診断 平成 15 年度実施
- ・新庄場内施設耐震診断 平成 15 年度実施
- ・配水池耐震診断 平成 15 年度実施

○耐震化工事

- ・新庄浄水場管理本館耐震補強工事（平成 17 年度～平成 18 年度）
※増打壁，新設壁の設置および，本館屋上へ設置してあった高架水槽を移設することによる耐震化。
- ・新庄浄水施設耐震補強工事（平成 19 年度）
※耐震補強スラブ増打により薬品沈澱池の耐震化。
- ・里庄配水池頂版修繕（平成 26 年度）
※同配水池上部の遮熱用土砂を撤去し，配水池への荷重を軽くすることにより耐震性能を向上。
- ・送水管新設工事（平成 21 年度～平成 28 年度）
※耐震管（NS 管，GX 管）を使用したの新しい送水管ルートを設置。
（総延長 3,854.7m）



里庄配水池

当企業団では，今後もより安定した水道水の供給ができるよう施設および管路の耐震化に取り組んでいきます。